

医療費節減のために、ジェネリック医薬品の使用促進に取り組んでいます

○ジェネリック医薬品とは

厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた後発医薬品のことです。先発医薬品の特許終了後に、有効成分、用法、用量、機能及び効果が同じ医薬品として新たに申請され、製造・販売される安価な医薬品のことです。



○処方してもらう際には

「ジェネリック医薬品希望カード」を医療機関または薬局に提示して、医師や薬局の薬剤師とよく相談し、説明を受けてください。

(カードは市民健康課、各総合支所地域市民健康課にありますので、ご希望の方は窓口で申し出てください。)

定期的に健康診断を受けましょう！

重症化する前に健診で早めに病気を見つけると医療費も少なくて済みます。

●病気の重症化の代表例に人工透析があります

昨年9月時点の国民健康保険加入者で、38人の人工透析患者中の35人の方に聞き取り調査を実施しました。

近年では糖尿病から透析になる方が増えていますが、糖尿病以外の病気の原因で透析になる方も多くいます。今回の調査で国東市は、明らかに**高血圧が原因**で腎臓機能が悪くなりその結果透析になる方が、大変多いことがわかりました。

実際に透析を受けられている方の声の一例です。

透析開始 年 齢	合 計	原 因 疾 患	
		糖尿病性	高血圧他
～49才	3人	1人	2人
50才～59才	6人	1人	5人
60才～	26人	5人	21人
合 計	35人	7人	28人

住民健診で紹介状が出ていたにも関わらず放っておいた。外まわりの仕事が多く、身体がだるかったが脱水からと思い、**高血圧**にも関わらず塩分を取り、酒量も多かった。そして、**高血圧**は酒を止めればすぐに治ると思っていたが、わずか2年で透析になってしまった。今となっては、**高血圧**が続くと腎臓にどう影響が出てくるのか詳しく知りたかった。腎臓は治す薬が無いとはじめて知った。

問い合わせ 市民健康課 国保年金係 ☎0978-72-1111

「認知症サポーター」養成研修

認知症状のある方は、高齢者（65歳以上）の10人に1人といわれ、特別な病気ではありません。

認知症状のある方が、住みなれた地域で暮らし続けるためには、認知症について、家族だけの問題とするのではなく、地域全体で考えていく必要があります。

国東市では、認知症状のある方が、その人らしく生活し続けるための「応援者」として、「認知症サポーター」を養成します。

- 日 時** 11月29日（木）
午後1時30分～3時30分
- 場 所** 武蔵保健福祉センター
- 参 加 費** 無料
- 内 容** 認知症の症状・予防、認知症サポーターとは、成年後見制度について
- 定 員** 60人
- 申込期限** 11月26日（月）
- 申し込み・問い合わせ**
- 介護保険課 ☎0978-72-5189
- 地域包括支援センター ☎0978-68-0247
- 地域包括支援センター国見支所 ☎0978-82-0800